

エステル

BC483-473

BC479 ギリシャ遠征失敗

BC473 エステルを求める

(へ) Ahasuerus アハシュエロス(改2)

(ぎ) Xerxes クセルクセス(改4)

(ぺ) khshayarsh

ルーベンドロンの聖書解釈

アハシュエロス =主の型

王妃ワシュティ =高慢で不従順な教会の型、ワシュティ (古ペルシャ) 美しい女の意味

ハマシ =悪魔

エステル =とりなしをするキリストの花嫁

モルデカイ =聖霊の型

1:2 クセルクセス王がスサの城で、王座に着いていたころ、

1:8 しかし飲酒は、「強要しないこと」という法に従っていた。だれでもそれぞれ自分の思いのままにさせるようにと、王が宮廷のすべての長に命じていたからである。

1:12 しかし、王妃ワシュティは宦官から伝えられた王の命令を拒み、来ようとはしなかった。そのため王は激しく怒り、その憤りは彼のうちで燃え立った。

ワシュティ=◀ 2060. Vashti (וַשְׁתִּי)(10回)▶ワシュティ。(意味：美しい)

2:7 モルデカイはおじの娘ハダサ、すなわちエステルを養育していた。彼女には父も母もいなかったからである。この娘は姿も美しく、顔だちも良かった。

モルデカイは、彼女の父と母が死んだとき、彼女を引き取って自分の娘としていた。

養育していた=◀ 539. aman 108 回▶信じる、確かにする、(ヘブライ語で信じるを意味する一般的な言葉)

確かな(1サム 2:35)(詩 89:28)、堅く建てる(1サム 3:20)(2サム 7:16)(1王 8:26)

ほんとうだということがわかる(Ge42:20)

忠実な(民 12:7)、長く続く(申 28:59)、

養い育てる(ルツ 4:16)、養育する(エステル 2:7)

乳母(nurse)の語源(2サム 4:4)、わきに抱かれて(イザヤ 60:4)

おぼつく(申 28:66)、当てにする(エレ 15:18)

2:12 娘たちは、女たちの規則にしたがって、十二か月の期間が終わった後、一人ずつ順番にクセルクセス王のところに入って行くことになっていた。準備の期間は、六か月は没薬の香油を、次の六か月は香料と女たちのための化粧品を用いて化粧することで、完了するのであった。

2:13 このようにして、娘が王のところに入って行くとき、その娘の願うものはみな与えられ、それを携えて後宮から王宮に行くことができた。

2:15 さて、モルデカイが引き取って自分の娘とした、彼のおじアビハイルの娘エステルが、王のところに入って行く順番が来たとき、彼女は女たちの監督官である、王の宦官へガイの勧めたもののほかに、何一つ求めなかった。こうしてエステルは、彼女を見るすべての者から好意を受けていた。

@エステルは自分の目で見ると良いと思うもの(高価なもの)を選ばなかった。

@多くの乙女たちは、どうせ選ばれないのだから、この際もらえるものを

ざまづく、礼拝する、礼をする

(NAS) paid homage (KJV) revered (INT) bowed and paid (改4) ひれ伏した

(NAS) paid homage (KJV) did [him] reverence (INT) homage (改4) ひれ伏そうとも

3:5 ハマンはモルデカイが自分に対して **膝もかがめ**ず、 **ひれ伏そう**ともしないのを見て、憤りに満たされた。

膝もかがめ=カラ◀ 3766.(כרע) kara 36回▶ ひざまづく (現へ) ひざまづく
(NAS)(KJV)(INT)*bow(改4)膝もかがめ

ひれ伏そう=シャハー◀ 7812. shachah (שחה) (172回) ▶ ひざまづく、礼拝する、礼をする

(NAS) paid homage (KJV) revered (INT) bowed paid (改4) ひれ伏した

4:13 モルデカイはエステルに返事を送って言った。「あなたは、すべてのユダヤ人から離れて王宮にいるので助かるだろう、と考えてはいけない。

4:14 もし、あなたがこのようなときに沈黙を守るなら、別のところから助けと救いがユダヤ人のために起こるだろう。しかし、あなたも、あなたの父の家も滅びるだろう。あなたがこの王国に来たのは、もしかすると、このような時のためかもしれない。」

4:15 エステルはモルデカイに返事を送って言った。

4:16 「行って、スサにいるユダヤ人をみな集め、私のために断食してください。三日三晩、食べたり飲んだりしないようにしてください。私も私の侍女たちも、同じように断食します。そのようにしたうえで、法令に背くことですが、私は王のところへ参ります。私は、死ななければならないのでしたら死にます。」

4:17 モルデカイは出て行って、エステルが彼に頼んだとおりにした。

6:11 ハマンは王服と馬を取って来て、モルデカイに着せ、彼を馬に乗せて都の広場に導き、その前で「王が栄誉を与えたいと思われる人はこのとおりでである」と叫んだ。

6:12 それからモルデカイは王の門に戻ったが、ハマンは嘆き悲しんで頭をおおい、急いで家に帰った。

7:7 王は憤って酒宴の席を立ち、宮殿の園に出て行った。ハマンは王妃エステルにいのち乞いをしようとしてとどまった。王が彼にわざわいを下す決心をしたことが分かったからである。

わざわいを下す決心=死刑ではない

7:8 王が宮殿の園から酒宴の広間に戻って来ると、エステルのいた長椅子の上にハマンがひれ伏していたので、王は言った。「私の前で、この家の中で王妃までも辱めようとするのか。」このことばが王の口から出るやいなや、ハマンの顔は青ざめた。

エス 7:8 王が宮殿の園から酒宴の広間に戻って来ると、エステルのいた長椅子の上にハマンがひれ伏していたので、王は言った。「私の前で、この家の中で王妃までも辱めようとするのか。」このことばが王の口から出るやいなや、ハマンの顔は青ざめた。

中途半端なへりくだりはさらに悪い自体をもたらす

8:5 言った。「もしも王様がよろしければ、また私が王様のご好意を受けることができ、このことを王様がもっともだとお思いになり、私のことがお気に召すなら、アガグ人ハメダタの子ハマンが、王のすべての州にいるユダヤ人を滅

ぼしてしまえと書いた、あのたくらみの書簡を取り消すように、詔書を出してください。

8:8 あなたがたは、ユダヤ人についてあなたがたのよいと思うように王の名で書き、王の指輪でそれに印を押しなさい。王の名で書かれ、王の指輪で印が押された文書は、だれも取り消すことができない。」

ローマ 8:2 なぜなら、キリスト・イエスにあるいのちの御霊の律法が、罪と死の律法からあなたを解放したからです。

8:10 モルデカイはクセルクセス王の名で書き、王の指輪でそれに印を押し、その書簡を、御用馬の早馬に乗る急使に託して送った。

8:11 その中で王は、どの町にいるユダヤ人たちにも、自分のいのちを守るために集まって、自分たちを襲う民や州の軍隊を、子どもも女たちも含めて残らず根絶やしにし、虐殺し、滅ぼし、彼らの家財をかすめ奪うことを許した。

8:12 このことは、クセルクセス王のすべての州において、第十二の月、すなわちアダルの月の十三日に、一日のうちに行うようにということであった。

8:13 各州に法令として発布される、この文書の写しが、すべての民族に公示された。それは、ユダヤ人が自分たちの敵に復讐するこの日に備えるためであった。

8:14 御用馬の早馬に乗った急使は、王の命令によってせき立てられて、急いで出て行った。この法令はスサの城で発布された。

8:15 モルデカイは青色と白色の王服を着て、大きな金の冠をかぶり、白亜麻布と紫色のマントをまとって、王の前から出て来た。すると、スサの都は喜びの声にあふれた。

8:16 ユダヤ人にとって、それは光と喜び、歓喜と栄誉であった。

8:17 王の命令と法令が届いたところは、どの州、どの町でも、ユダヤ人は喜

び楽しみ、祝宴を張って、祝日とした。この地の諸民族の中で大勢の者が、自分はユダヤ人であると宣言した。それはユダヤ人への恐れが彼らに下ったからである。